

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 244

2015年

5～6月号

行 事 案 内

Enjoy 手賀沼！ 第 26 回バードウィーク手賀沼探鳥会 (5月手賀沼探鳥会とカウント)

バードウィーク(5/10~5/16)期間中に実施されるイベント Enjoy 手賀沼!の一環として探鳥会を行います。我孫子市鳥の博物館と当会が共催し、山階鳥類研究所が後援します。探鳥会には50名前後の市民の参加が見込まれ、見つけた鳥の説明をします。

会員多数のお手伝いをお願い致します。

期 日 5月10日(日)
集 合 手賀沼親水広場 午前8時30分
担 当 全幹事(事務局:金子雅幸、野口隆也)

案 内 今回は手賀沼遊歩道を歩く1時間コース(9:30~10:30)と2時間半コース(9:30~12:00)に分け、どちらかを選んで頂きます。

探鳥後、鳥合わせは班ごとに鳥の博物館で行います。

- * 5月の定例探鳥会はこのバードウィーク手賀沼探鳥会に代えます。
- * 雨天の場合は鳥の博物館見学会(入場無料)を実施します。
- * 雨天の判断は7時30分以降「鳥博」04-7185-2212まで。

6月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 6月14日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 夏鳥の季節となり、カッコウやホトトギスの声も聞こえてきます。鳥の種類は少なくなりますが、コブハクチョウやカイツブリ、オオバンなど水鳥の幼鳥と子育ての様子が見られるでしょう。葦原ではオオヨシキリがギョギョシと大声で囀り、水田ではチュウサギ、アマサギが採餌と、この時期ならではの鳥の行動を観察しましょう。そろそろ暑さ対策もお忘れなく。

解 散 正午
担 当 桑森

5月、6月ピオトープ調査

期 日 5月7日(木) 雨天延期
6月4日(木) 雨天延期
集 合 手賀沼ピオトープ 午前9時30分
案 内 5月は冬鳥がほぼ去り、夏鳥が見られるようになります。6月は冬鳥がいなくなります。昨年5月は20種、6月は12種の野鳥を観察しました。5-6月はツツジ、アジサイ、コデマリ、タイサンボク等多くの木の花、アカツメクサ、コメツブツメクサ、

ハルジオオン、ヒメジオオン等多くの野草の花、5月には蝶が、6月にはトンボ等の昆虫が見られます。また、田、池からは蛙の音が聞こえます。初夏の田園の雰囲気を感じながら手賀沼ビオトープ周辺を探鳥してみましょう。参加希望の方は下記までご連絡下さい。

解散 午前 11 時 30 分
担当 鈴木静治
Tel : 080-3121-4757

筑波山探鳥会 (再掲)

期日 5月2日(土) 雨天中止
集合 我孫子駅北口 午前7時
案内 当会恒例の探鳥会です。筑波山は昔から西の富士、東の筑波と称され、百名山・日本百景の一つです。山中には珍しい植物や美しい野鳥も多く自然の宝庫です。キビタキ、オオルリ、コルリ、センダイムシクイ、ソウシチョウ、ツツドリなどを求めて静かな裏側の山道から登ります。山頂付近からの眺望もぜひお楽しみ下さい。

交通 自家用車分乗です。同乗者は一人1,500円を運転者にお渡し下さい。なお自家用車を提供可能な方は、申込時にその旨ご連絡下さい。

持物 観察用具、念のため雨具、昼食(途中購入可)

申込 野口隆也まで
Tel : 04-7163-7898

担当 小林(寿)、野口(隆)

戸隠探鳥会

期日 6月7日(日)、8日(月)
集合 我孫子北口ふれあい広場前
午前8時

案内 2008年5月以来久々の戸隠探鳥会です。6月初旬はカラマツが芽吹き、ミズナラ、ブナ、ハンノキ等の若葉、ウワミズザクラ、レンゲツツジ等の花が咲き始め、足元では名残のミズバショウ、カタクリの他にニリンソウ、ミツガシワ、ヤマオダマキ等が咲きます。

戸隠高原では、戸隠神社の参道、森林植物園、牧場、湿地、鏡池、宿舎の越水ヶ原でキビタキ、オオルリ、カッコウ、ミソサザイ、オオアカゲラ、キバシリ等、森林の夏鳥を探してみましよう。

前回はヤマドリ、フクロウも観察できました。運が良ければアカショウビンの鳴き声、姿が観察できるかもしれません。

交通 中型バス
定員 20名
宿泊 森の宿 めるへん
長野市戸隠越水ヶ原
Tel : 026-254-2081

費用 25,000円程度
持物 観察用具、雨具、洗面用具、常用薬、虫よけ、靴は防水・濡れたところで滑らないもの

申込 鈴木(静)
Tel : 080-3121-4757

古出
Tel : 0476-42-3188
5月18日(月)まで
保険加入のため申し込み時に生年月日をご連絡ください。

担当 古出、金子(幸)、鈴木(静)

笹川・印旛沼探鳥会

期日 6月28日(日) 雨天中止
集合 我孫子駅北口 午前8時
案内 午前中の印旛沼ではヨシゴイやお目当てのサンカノゴイに期待します。午後の笹川周辺ではヨシ原の中の

セッカ、オオセッカ、オオヨシキリ、コヨシキリ、コジュリン等の「草原の合唱」を間近で鑑賞します。

持物 観察用具、雨具、弁当・飲物(途中のコンビニでも購入可)

交通 自家用車に分乗です。同乗者は一人1,500円を運転者にお渡し下さい。合わせて下見代として参加者は一人200円を幹事にお渡し下さい。なお申込の際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡下さい。

申込 野口隆也まで
Tel : 04-7163-7898

担当 船津登、野口隆也

第12回「野鳥サロン」のご案内

第12回野鳥サロンを下記の日程にて開催いたします。題名は以下の通りです。

*「鳥の生態や識別、羽色、構造などの中からいくつかの具体的なテーマ・疑問について」

テーマを選んで、みんなで楽しく闊達に話し合しましょう。(約1時間)

テーマ選択 田中功

*「我孫子野鳥を守る会の里沼・手賀沼の変遷と美手連の手賀沼環境活動の取り組み」
美しい手賀沼を愛する市民の連合会(美手連)における環境活動資料を通して、里沼「手賀沼の変遷」と「環境活動の一端」を紹介します。(約45分位)

紹介者 野口隆也

日時 5月19日(火) 13:30~16:00

場所 我孫子北近隣センター 並木本館
第3会議室(30人室)

電話 04-7157-4517 我孫子駅北口より徒歩7分

会費 一人300円(茶菓子代ほか)

定員 30名(会議室収容人員の関係)

申込 染谷迪夫まで
Tel/Fax : 04-7182-3972

(ウィークデイですがふるっでの参加をお待ちしています)

締切日 5月12日(火)

担当 田中功、野口隆也、染谷迪夫

5月役員会案内

日時 5月10日(日) 13:00~16:00
(開始時間に注意!)

場所 我孫子北近隣センター「並木本館」第2・3会議室

議題

27年度下期行事計画について
27年度役員の仕事別分担について
会報245号掲載予定記事について
11月以降の「野鳥サロン」について
会員名簿の取り扱いについて
報告事項
・関係団体関連報告
その他(議題のある場合は桑森亮までご連絡ください。)

新入会員オリエンテーションのご案内

今年度も新入会員オリエンテーションを下記の様に開催します。

日時 6月21日(日) 10:00~12:00

場所 アビスタ 第3学習室

内容

- 1、歓迎の挨拶
当会の運営体制紹介
- 2、当会の活動内容紹介
当会の特徴
当会の名人たち
当会の年間活動ほか
- 3、先達に聴く
探鳥の心構えと準備
鳥のを見つけ方、見分け方
探鳥の楽しみ方
- 4、今後の活動予定
- 5、質疑応答&懇談

申込 野口紀子まで
Tel : 04-7182-7232

行事報告

2月手賀沼探鳥会

調査日時 2015.2.8 9:00～12:00
曇り 無風 9

雨の予報にもかかわらず、カウント班を含め28名が参加。初参加2名。沼面には、カモ類多数。ヒドリガモ、コガモは混群で、オカヨシガモ、ミコアイサはそれぞれ番となっていた。ヨシ原にはホオジロ、オオジュリン。沼内の杭の上にはチュウヒ。浅学にして知らなかったが、チュウヒは魚も食べるとのこと。他にもハヤブサ、ノスリなど上空も賑やかでした。

<認めた鳥> コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、トビ、チュウヒ、ノスリ、カワセミ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、タヒバリ、カワラヒワ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン 計44種 番外 カワラバト
<探鳥班> 田丸喜昭、村瀬和則、石原操、石原広幸、野口隆也、小澤淳宏、船津登、北崎正典、松田幸保、桑森亮、類地佑子、野倉元雄、間野吉幸、石渡成紀、六角昭男、千葉洋、相良直己、常盤孝義、鈴木静治、小林博之、岩田孝之、岩田マキエ
(担当) 小林寿美子、野口紀子 計24名
<カウント班> 染谷迪夫、田中功、松本勝英、松本葉子

調査日時 2015.2.8 9:20～12:15
曇りのち雨 北西弱風 5

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	8	23	31
オカヨシガモ	45	0	45
マガモ	0	115	115
カルガモ	56	31	87
オナガガモ	0	1	1
コガモ	187	41	228
ホシヅロ	0	2	2
キンクワシロ	0	1	1
ミコアイサ	0	2	2
カイツブリ	20	6	26
カンムリカイツブリ	12	4	16
ハジロカイツブリ	2	0	2
カワウ	9	32	41
アサギ	19	2	21
ダイサギ	3	2	5
コサギ	1	2	3
オオバン	19	50	69
ユリカモメ	3	0	3
セグロカモメ	0	1	1
合計	393	315	708

<ピオトープ班> 鈴木静治、間野吉幸、金子雅幸、船津登

調査日時 2015.2.7 9:30～11:15

晴れ 無風 7～11

当初予定しました2/5(木)は雨のため、2/7(土)に延期し実施しました。当日は無風で沼面は静かでしたが、沼面にあまり鳥は見られませんでした。水辺の葦の間にカイツブリ、カルガモ、コガモ、オオバン等が見られました。斜面林の上空高くトビ3羽が旋回し、沼上をチュウヒが飛びました。ピオトープ生息ゾーンの植生移植工事が進み、大きな池ができました。抽水植物の茂みにはホオジロ、アオジが多く観察出来ました。また生息ゾーンでカシラダカ、観察ゾーンでシメ、アリスイが見られました。木の頂に立ち囀りの

練習するホオジロ、葦の穂先の実を啄むホオジロが見られました。観察した野鳥 24 種 158 羽、他に木の花芽、実 4 種、野草の花実 5 種、小動物 1 種も観察しました。

< 認めた鳥 > カルガモ、コガモ、カイツブリ、アオサギ、コサギ、カワウ、バン、オオバン、アリスイ、モズ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン 計 24 種

3 月 手 賀 沼 探 鳥 会

調査日時 2015.3.8 9:00 ~ 11:30
雨 北弱風 8

小雨が降っていましたが 12 名のつわものが集まりました。雨の中探鳥会を実施するか決めかねていたところ、大先輩から「これから天気は良くなるはず」と心強い言葉があり、あっさり雨中探鳥会が決まりました。手賀沼デュアスロン 2015 が手賀沼ふれあい緑道で催され一部は通行止めとなっていることもあり、探鳥場所は手賀の丘公園に変更しました。

結局雨が上がることは無く、見られた鳥は少なかったが、手賀沼沿いの探鳥会では見ることができないルリビタキ、クロジなどをゆっくり楽しむことができました。

< 認めた鳥 > キジバト、カワセミ、コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ルリビタキ、シメ、アオジ、クロジ 計 17 種

< 探鳥班 > 相良直己、船津登、村瀬和則、野口隆也、間野吉幸、田丸喜昭、田丸メリーリス、猪爪敏夫、渡辺俊文、桑森亮、小玉文夫 (担当) 小澤淳宏 計 12 名

< カウント班 > 木村稔、田中功
調査日時 2015.3.5 9:10 ~ 11:45

晴 南西弱風 7 ~ 12

調査種	上沼	下沼	合計
コガモ	18	18	36
オオバン	22	0	22
マガモ	0	28	28

カルガモ	45	31	76
オオバン	0	1	1
コガモ	198	3	201
ミオソ	2	2	4
カイツブリ	10	2	12
カムカイツブリ	2	2	4
ハシカツブリ	2	0	2
カワウ	21	50	71
アサギ	12	0	12
ダイサギ	3	2	5
コサギ	2	2	4
オオバン	19	32	51
ユリカモ	0	1	1
セグロカモ	2	3	5
合計	358	177	535

< ビオトープ班 > 鈴木静治、間野吉幸、池田日出夫、蒲田知子、船津登、金子雅幸

調査日時 2015.3.5 9:30 ~ 11:10

晴れ、やや強い風、11 ~ 14

北西の風強く、沼に白波立つ。沼岸の葦原に水鳥隠れているが、沼中に鳥少ない。枯れた抽水植物の中にホオジロ、アオジ、オオジュリンが動き回る。池にはコガモ、オオバン、バン、コサギが動き、モズが他の鳥の真似をして鳴く。空高くトビが飛ぶ。田起こし後の田ではスズメ、ムクドリ、カワラヒワ、ツグミ、ハシボソガラス等が採食。

観察した野鳥 17 種 161 羽。他に木の芽 3 種、野草の花 6 種、野草の葉芽 3 種が観察でき、小動物 1 種も観察出来ました。

< 認めた鳥 > カルガモ、コガモ、カイツブリ、カワウ、コサギ、バン、オオバン、トビ、モズ、ハシボソガラス、ムクドリ、ツグミ、スズメ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計 17 種

渡良瀬遊水地探鳥会

2 月 15 日

印象的でした、ヨシガモの緑色！

渡辺公子

昨年 9 月に入会させて頂いて、こちらは初めての参加です。車に乗せて頂いて、現地に着きますと、冷たく寒い空が吹きまく

っていました。鳥は見られないかしらと思いつながら探していますと、暫く行って、幹事さんの「こっち！こっち！」「ベニマシコとカワラヒワ！」と呼んで下さり、丁寧に場所を教えて下さいましたので、そちらへ急いで3羽のベニマシコとカワラヒワの大群もそれは良く長く長く見られ、こんなに長く見られるのは初めてです。後で幹事さんが「アキニレの実が強風で落ちているから居るのではと思った」と言われて、皆さんの知識の豊富さに圧倒されてしまいます。強風の良さもあるんですね。

感心してしまいました。

今日は予定では昼食はラーメンとなっていて、ラーメン好きの私はとても楽しみにしていましたが、中止になり残念でした。

その後、第一調整池でミコアイサや緑が光線に反射してきれいなヨシガモ、カイツブリが印象に残りました。沢山見られたようでした。

最後に乗せて頂いた百瀬さんのご案内で、初めてのトラフズクを洞でなく、大木の繁った葉裏に隠れるように後ろ向きに見えました。別の木にもう少し小さめの1羽がこちらに向けて良く見えて感激でした。男性の方々は寒い寒い空っ風の中、何時までも何時までも写真を撮られていらっしやるのには、震えながら感心してしまいました。色々教えて頂いて皆様有難うございました。

【幹事報告】

我孫子を出発する時は絶好の探鳥日和かと思われたが、現地に着くと強い風が吹いており、荒天の中での探鳥会となった。

参加者は総勢 25 名。我孫子から国道 16 号線を経て新 4 号線バイパスに入り、途中「道の駅庄和」でトイレ休憩、その後 354 号線を経由して渡良瀬遊水地北口エントランスから遊水地内に入り、谷中村史跡保存ゾーンに到着。所要時間 2 時間弱。

渡良瀬遊水地は広大なヨシ原が特徴。面積は 33 平方km に及び、探鳥ポイントを絞り込み、車で移動した。探鳥ポイントは次の通り。
(1) 谷中村史跡保存ゾーン (2) 谷中橋付近の池内水路 (3) 鷹見台 (4) 第 2 排水門付近 (5) 第 3 排水門付近 (6) 第 1 調整池付近

強風による悪条件下での探鳥会ではあったが、41 種の野鳥を観察した。最初の谷中

村自然保存ゾーンではお目当てのベニマシコを目前で見ることができ全員が満足、シメ、大群のカワラヒワも観察できた。また、第 1 調整池の用水池ではミコアイサ、ヨシガモ、ホシハジロ等がみられた。期待していた猛禽類は、トビは何度も確認できたが、それ以外は強風のせいか余り出現せず、やや期待外れではあった。しかし、帰る直前になって想定外の出会いがあった。トラフズクである。最後に「道の駅きたかわべ」で鳥合わせをし、3 時半解散した。

< 認めた鳥 > オカヨシガモ、ヨシガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、キジバト、カワウ、ダイサギ、コサギ、オオバン、オオハシシギ、キアシシギ、セグロカモメ、トビ、チュウビ、トラフズク、カワセミ、コゲラ、モズ、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、ピンズイ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ 計 41 種 番外 カワラバト、イタチ

< 参加者 > 古賀嗣朗、小山雄司、村井みとい、間野吉幸、玉井修一郎、小澤淳宏、相良直己、船津登、金子幸子、野口紀子、中根忠、松本勝英、中野久夫、浅野利幸、渡辺公子、百瀬喬、池田日出男、野倉元雄、大久保陸夫、桑森亮、津村勝吉、阿保進、阿保國子 (幹事) 野口隆也、石渡成紀 計 25 名

銚子カモメ探鳥会

3 月 1 日

当日の天気予報が曇り後雨で、降水確率は午前 60%、午後 90%、強風ということで、残念ながらやむなく中止としました。昨年に引き続きの雨天中止で、幹事の桑森が雨男のようで、来年は是非「晴れ男・女」を幹事にリベンジを期待します。

参加予定者は幹事を含めて 24 人、車 6 台で、準備をしていた皆さんには申し訳ありませんでした。

8 日前の下見では、例年よりカモメは少なかったのですが、鳥の種類は相応に見られ、海が荒れたせいかな珍鳥のウミスズメが銚子

第3 漁港と波崎カモメ公園前水路で観察されました。昨年、今年と漁港に珍鳥が入ることが多いようなので、来年を楽しみに待つことにしましょう。

(幹事) 相良直己、北崎正典、桑森亮

第11回「野鳥サロン」実施報告

日時 3月28日(土) 10:00~11:45

場所 我孫子北近隣センター

並木本館第2・3会議室

テーマ ハワイの鳥たち

鳥を題材にしたネイチャー

ゲーム

旅先で見た鳥

上記日時場所において第11回野鳥サロンが開催されました。

は、ハワイで見られる鳥について、桑森さんがパワーポイントを使用して紹介しました。常夏の国らしく色彩豊富な鳥たち満載でした。ハワイの野鳥はほとんどが移入種であること、写真に収めたグンカンドリがハワイの野鳥図鑑にあったコグンカンドリではなく、オオグンカンドリであることが判明するなど、盛り上がりました。

は、順番に出されるヒントから生物を言い当てるネイチャーゲーム「ノーズ」を野鳥版にアレンジした「野鳥ノーズ」、背中に付けられたカードの生き物を他の参加者に特徴や生態などを質問しながら言い当てるネイチャーゲーム「動物交差点」をアレンジした「野鳥交差点」を紹介し、参加者全員で体験しました。野鳥の特徴等について質問しながら名前を言い当てるのは意外と難しいと感じた方も多いようでした。

は、小林さんがバリ島を旅行した際、見られた鳥について紹介しました。観察地ではコモドラゴンが放し飼いにされていて、恐怖を感じながら野鳥を観察したことなど、観察にまつわる“エピソード”も聞くことができました。

バリ島で見られる野鳥の写真シートを回覧し、色とりどりの珍しい野鳥の姿に参加者から感嘆の声が上がっていました。

途中、芹澤さんからチョコレートの差し入れもあり、皆さん楽しいひとときを過ごしま

した。

<参加者> 間野吉幸、野口隆也、畠中暁美、関口小夜子、金子雅幸、木村稔、池田日出男、古高利男、松田幸保、類地佑子、古出洋子、相良直己、千葉洋、大久保睦夫、古賀嗣朗、常磐孝義、百瀬喬、芹澤正子(担当幹事) 桑森亮、小林寿美子、北崎正典 計21名

「我孫子を知る23会」探鳥学習指導

“ふれあい塾あびこ”の講座のひとつである市民カレッジの卒業生による自主的な集まり「我孫子を知る23会」からの要望があり、手賀沼の漁協前から滝下広場付近までの往復コースでの探鳥を実施しました。

当日は降雪が心配されたものの曇りで風も緩やかな、この時期としては上々の天候でした。当会からは間野会長、野口副会長、船津さんと私(野倉)が出席しました。

“23会”は12名の参加で9時半から開催されました。間野会長から配布された「手賀沼周辺の身近な水鳥/陸の鳥チェックリスト」を片手に集合場所の水の館前から出発です。

早速広場の芝生にいるツグミをスコープで観察しますと、鮮やかなオレンジ色やこげ茶色などがハッキリ見て取れ、皆さん大喜びです。ヒヨドリを見ても「しっかり見たのは初めて!」という声も聞こえました。漁協の前ではオオバンやカモ類を観察し、河童の像の付近ではカワセミが美しい羽色を見せてくれ、セグロカモメが河童の頭にとまっている姿に微笑みました。その後の遊歩道ではトビ、モズ、オオジュリン、ホオジロ、セグロセキレイ、エナガ、シジュウカラ、アオジ、アオサギ等が出てくれて、参加者が熱心に且つ喜んで観察されましたので、進行の予定時間が大幅に遅れたため行程を短縮し、市民農園付近から帰路に就くことになりました。

水の館に戻って鳥合せをして解散となりましたが、参加者からは「今まで鳥を見ても『鳥がいる』だけで終わっていたのが、今後はどんな鳥かに興味を持ってそう」とか「手賀沼でこんなに多くの野鳥を見ることができて楽しかった」などの感想が寄せられました。また、会の活動である第二日曜の定例探鳥会

についてよく知りたいという参加者もあり、多くの人に興味と理解を持ってもらえたものと思います。観察した鳥は計 29 種でした。
(野倉:記)

3月役員会報告

日時 3月8日(日) 13:00~16:20
場所 水の館 3階研修室
議事

1. 4月の定期総会について
4月12日(日)開催の定期総会資料について、事務局及び会計担当が資料に基づき提案し、検討の結果、一部を修正・追記することで最終案を決定しました。
総会資料は次の通りです。
 - ・平成27年度定期総会次第
 - ・平成26年度事業報告(案)
 - ・平成27年度事業計画(案)
 - ・平成26年度決算・27年度予算案及び貸借対照表
2. 役員改選について
27年度の役員改選について検討し、新体制、新任幹事候補者を決定しました。なお、会長、副会長、会計監査は総会で決定されます。幹事は5人が諸事情により退任し、同数を新任者で補充する予定で、5月に開催される役員会で決定されます。
3. ほーほーどり 244号掲載予定記事
会報244号の掲載記事について、資料に基づき検討し、執筆担当等を決定しました。
また、編集担当から『会員便り』への投稿について協力要請がありました。会報への投稿は ab-yacho 以外に個人宛 Eメールや郵送、Fax でも受け付けますので、会員の皆様のご協力をお願いします。
4. 会報改善検討委員会メンバーについて
事務局から資料に基づき提案され、異議なく承認されました。
5. 第12回「野鳥サロン」と7月以降の担当について
事務局から資料に基づき提案され、異議なく承認されました。
なお、第15回(11月)以降の役員メン

バーについては、新役員が決定次第事務局から別途提案し検討します。

6. 「手賀沼の鳥たち~その観察スポットと生態行動~」の作成について
作成タスクチームメンバー(役員と一般会員により編成)とタスク運営について、担当幹事から資料に基づき提案され、異議なく承認されました。
7. 水鳥カウント班のメンバー一部交代について
手賀沼の水鳥カウント班のメンバーの一部交代と今後の運営について、担当幹事から資料に基づき提案され、検討の結果、新しいカウント班体制と運営等を決定しました。
新体制は、レギュラーメンバー4名とバックアップメンバー5名とで編成し、カウント実施日は第2日曜日に拘らず、メンバーが実施日を調整して決定します。
8. 報告事項
美手連関係、JBF2014第6回実行委員会(2/25)、あびこ市民活動ステーション関係、第2回市民活動メッセ関係 について対応状況が報告され、了承されました。
9. その他
現在作成中の「会の活動記録DVD」について、担当幹事からHPのトピックスに掲載されている写真についても会の活動記録としても登録したい旨の提案がなされ、異議なく承認されました。
これにより、今後は、HPトピックスへの投稿写真は会の活動記録としてもデータ管理されることとなります。

以上

1) 祭りの後

大津川周辺の団地の広場でも夏祭りの盆踊りの太鼓の音が響きます。夏祭りの宴の後、ギョギョシ、ギョギョシと賑やかなオオヨシキリの夏祭りも終え、大津川も静かになります。9月に入るとツバメの姿も見えなくなり、チュウサギの姿もいつの間にか消えていきます。大津川周辺は、再び静寂に戻ります。

残念ながら、大津川周辺では、秋の渡りのシギチを見ることはありません。季節により偏西風の流れが変わる故か、秋の渡りでは大津川周辺はその経路とならないのでしょう。

8月末から9月一杯は、私の足も大津川周辺から暫し遠のきます。

この間は、週末の探鳥は、葛西臨海公園や谷津干潟、茨城方面などへ秋の渡りのシギチを見に行くことが増えるからでしょう。

2) 冬の主役はコガモ、澄んだ声が響きます

そんな静かな大津川に再び、賑わいが戻るのは9月中旬にコガモが戻って来た時から始まります。カモ類で最も早く飛来するコガモ、そして、最も遅くまで滞在するコガモ。

昨年、最も早くコガモを見かけたのは9月14日でした。

飛来したばかりの頃のコガモはエクリプスの状態です。カモ類は、他の多くの鳥と異なり冬季に番いを形成します。このため、秋から冬にかけて生殖羽に変わるため換羽が始まります。

飛翔に支障のない部分から抜け落ち、繁殖期後期には風切羽が一斉に抜け落ちて飛べなくなります。この間は、外敵から身を守るため、目立たないようにオスの羽もメス同様地味なものとなります。この後、羽が生えそろう飛べる状態になると寒いシベリアから温暖な日本に飛んできます。日本に飛んでくる時には、換羽後の生殖羽が生えそろう後であるため、完全なエクリプス状態ではありません。日本に飛来すると瞬く間に、華麗な生殖羽に変わってしまします。エクリプスの状態はつかの間しか見ることはできません。その中でも、コガモは最も早く飛来しますので、比較的長くエクリプス状態を見ることができると思います。一般にエクリプス時のオスとメスを見分けるのは容易ではありません。その中でも、コガモはくちばしの色がオスとメスで明らかに違いますので比較的容易に見分けられます。季節が進むと釣り人が近くに居てもさほど気にしないコガモですが、流石にエクリプスの時期は神経質です。目立たない川岸の茂みに居ることが多く、近寄るとすぐに逃げ去ります。

3) もう一人の主役はオオバン

この時期のもう一人の主役はオオバンです。オオバンは我孫子市の市の鳥となっていますが、流域の大半が柏市である大津川で冬季に最も数が多いのもオオバンです。

秋口にコガモが飛来する頃、オオバンの群れも大津川に戻ってきます。夏の間は僅かの居残り組だったオオバンがいつの間にか大津川の最大勢力になります。大津川の中流域から最下流のヒドリ橋までオオバンは満遍なく見ることができます。

特に冬季の中の橋周辺では、30羽近いコブハクチョウ、数十羽のコガモの群れと共に、橋下にできた洲に100羽近くのコガモの群れが集まります。

川岸の土手に上がり草を食むもの、洲の上で羽繕いや背伸びをしているもの・・・、首をヒョコヒョコと前後に振りながら泳いでいるもの・・・、中にはあくびをしているオオバンもいます。遊歩道の上まで上がり、人や自転車が来ると川面にあわてて飛び下りる群れもあります。いつまでも見飽きないオオバンの群れです。

我孫子市の市の鳥がオオバンで、柏市の市の鳥はオナガです。オナガは留鳥であり一年中見ることができます。大津川の川岸には高い樹木は少なく、オナガを見ることはあまりありません。しかしながら私が住んでいる大津川流域の大津が丘には、オナガを良く見かけるスポットが4箇所ほどあります。1週間前には16羽の群れが大津が丘団地に飛来し、木のてっぺんや電線に並んで止まったりした後、飛び去りました。また、今朝は通勤の途中、中の橋

のバス停で向かいのイチョウの木と竹林にオナガの群れが飛来し、ギーイ、ギーイと一際にぎやかに大きな声をあげていました。

また、冬の時期の大津川河畔の代表選手はモズです。モズは大津が丘団地の住宅の屋根上のテレビのアンテナや電線上でもよく見かけ高鳴きの声を良く聴きます。我が家の庭にも良くやってくるようで、家の裏の木にバッタ、ヤモリ、カナヘビなどはやにえを毎年のように見かけました。残念ながら数年前に排水管の工事のため家の裏の木は切ってしまいましたためモズの来る木は我が家にはなくなってしまいました。しかしながら、ご近所さんには相変わらず良く来ています。

大津川の中流域の土手を歩きますと、多い日には5~6羽のモズに出会うことがあります。私にとって大津川で最も数多く被写体になってくれる鳥です。

4) カモの足跡 キミはどこから来て、どこへ去っていくの？

第2回に記載しました通り、大津川にもヒドリガモも決まったスポットに毎年10羽余飛来します。今シーズンは1羽だけアメリカヒドリも混じっていました。

手賀沼への飛来時期は確認したことはありませんが、他の水元公園や谷津干潟などと比較して大津川にはかなり遅く飛来します。したがって、大津川ではエクリプス状態のヒドリガモを私はこれまで見ていません。どこかに最初に飛来して、その中の10数羽だけが大津川に移動してくるのでしょうか？鳥の渡りの研究として、シギチ等では標識調査が行われています。カモ類も同様に標識調査が行われているそうです。

大津川のヒドリガモはどこから来て、どこへ去っていくのでしょうか？

シギチほど一般的でない故か、これまで注意して見ているのですが、大津川のヒドリガモ、コガモで標識を付けた個体にはまだ出会ったことがありません。

最近では、送信機を装着した追跡調査も行われているようで、千葉県で送信機を装着されたオナガガモの追跡調査結果がインターネット上で報告されていました。

標識を付けて放鳥された鳥は、寿命の研究にも用いられています。米国での標識調査の結果、自然界での平均寿命が2~3年(5~6年という説もあります)といわれているマガモが26年以上の長寿であったそうです。鳥の寿命は体の大きさに比例するとも言われています。マガモの長寿記録が26年だとすると、体長がマガモの2/3程度のコガモの長寿記録は17年程度ということでしょうか？

5) エピローグ

大津川の土手を長年散策していますと、年に一度程度、鳥の死骸に出会うことがあります。

多くはキジバト、ドバト、ムクドリ、スズメなどです。昨年はツバメの死骸を見ました。

大津川では、ほとんど猛禽類を見ることはありませんが、それでも捕食者は様々です。

鳥の平均寿命を考えると、もっと頻繁に鳥の最後に出会ってもよいのかも知れません。

弱った鳥、衰えた鳥、傷ついた鳥は、それでも一日でも永らえようと本能的に捕食者が見つけにくい茂み等に隠れます。そしてそこで人知れず命を終えます。昆虫や微生物がその命を土に変えます。

鳥たちが数多くの卵を産むのは、命のリレーを絶やさないためにも、沢山の卵が必要なのでしょう。

自然界では、捕食者はあり、天候不順で食糧難、暴風雨、酷寒酷暑などなど、様々な悪条件が存在します。ヒナや幼鳥での死亡率は大変高く、成鳥になるのはほんの僅かです。私たちが、大津川で見ることができる鳥たちは、その低い確率の中で、たくましく生き抜き成鳥となって、私たちを楽しませてくれているのです。

そして、次の世代へ生命をつなぎ、これからの私達の楽しみもつないでくれます。

4回にわたって大津川の春夏秋冬の野鳥に関して綴ってまいりました。

毎年毎年、大津川の風景や景観変わっていきます。河川の改良工事が進むにつれ、生息する鳥模様も変わりつつあるようです。今日出会えた個体には、もう二度と会うことは無いのかも知れません。来年も、10年後も、50年後も鳥たちの生命のリレーを見ることが出来るそ

んな大津川であり続けて欲しいものです。

私達に出来ることがあるならば、そのために少しでも役立ちたいと思っています。

(完)

鳥 だ よ り

春を告げる鳥(春告鳥)といえ、ウグイス。今年は例年に無く早く春を告げてくれました。今年の初音は1月25日。昨年は3月1日(北新田)、2013年が2月4日(緑2丁目)、2012年:2月22日(北新田)、2011年は2月26日(湖北台1丁目)で、ここ5年の鳥だよりの記録の中では最も早い初音でした。

「鶯の谷より出づる声なくは春来ることを誰か知らまし」『古今和歌集』 ~大江千里~

- | | |
|---|---|
| 1.23 [発作] 木ヅカモ(2) 潜水しながら川を泳ぐ 鈴木静治 | 1.25 [利根川河川敷(ゆうゆう公園)] ウグイス(5) 囀り(初鳴き) 鈴木静治 |
| 1.23 [発作] ヒ(1) 川の上を飛ぶ 鈴木静治 | 1.25 [利根川河川敷(ゆうゆう公園)] ヒバリ 囀り 鈴木静治 |
| 1.25 [酒井根 6 丁目下田の森] アカウ(1) 9:46、木の幹を鳴きながら移動 飯泉仁 | 1.26 [北新田] オカカ(1) 越流堤横柳上 中野久夫 |
| 1.25 [酒井根 6 丁目下田の森] オカカ(1) 10:05、カスに追尾され出現 飯泉仁 | 1.26 [片山] ノスリ(1) 電線に止まる 船津登 |
| 1.25 [下沼田] ハブサ(1) 田の上空を飛ぶ 鈴木静治 | 1.26 [片山(手賀の丘公園)] オカカ(2) 追いかけてこの後林に入り鳴く 船津登 |
| 1.25 [下沼田] ノスリ(1) 田の杭にとまる 鈴木静治 | 1.26 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ(3) 船津登 |
| 1.25 [水道橋] ヘニシロ(1) 河原の柳にとまり鳴く 鈴木静治 | 1.26 [片山(手賀の丘公園)] クヅ(3) 地上で採食 船津登 |
| 1.25 [千間橋] ハブサ(1) 鉄塔上部にとまる 鈴木静治 | 1.27 [下沼田] チョウゲンボウ(1) 電柱にとまる 鈴木静治 |
| 1.25 [浅間前] チョウゲンボウ(1) 田の上を飛ぶ 鈴木静治 | 1.27 [江蔵地] チョウゲンボウ(1) 田の電柱にとまる 鈴木静治 |
| 1.25 [片山] ヤマガラ(2) 斜面林の間を動く 鈴木静治 | 1.27 [江蔵地] ヘニシロ(4) セイカアワガチウの茂みに飛び込む 鈴木静治 |
| 1.25 [北新田] ヒ(1) 帆翔 中野久夫 | 1.27 [手賀新田] ノスリ(1) 河原より飛び出し電柱にとまる 鈴木静治 |
| 1.25 [北新田] ノスリ(1) 帆翔 中野久夫 | 1.27 [北新田] チョウゲンボウ(1) 電柱上 中野久夫 |
| 1.25 [北新田] チョウゲンボウ(1) 電柱上 中野久夫 | 1.28 [都部] ヤマガラ(1) 木の枝で鳴く 鈴木静治 |
| 1.25 [発作] オカカ(12) 下手賀川で泳ぐ 船津登 | 1.28 [都部] ヒ(1) 上空で鳴きながら飛ぶ 鈴木静治 |
| 1.25 [利根川河川敷(ゆうゆう公園)上空] ノスリ(1) 飛翔 鈴木静治 | 2.01 [相島] ノスリ(1) 強風の中、低空を飛ぶ 鈴木静治 |
| 1.25 [利根川河川敷(ゆうゆう公園)上空] ヒ(1) 飛翔 鈴木静治 | 2.02 [片山(手賀の丘公園)] ヒ(1) 上空を飛ぶ 船津登 |
| 1.25 [利根川河川敷(ゆうゆう公園)上空] チョウゲンボウ(1) 飛翔 鈴木静治 | |

- 2.02 [片山(手賀の丘公園)] 材カ(1) 鳥を捕え林の中を飛ぶ 船津登
 2.02 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ(4) 船津登
 2.02 [片山(手賀の丘公園)] 知ジ(1) 地上で採食 船津登
 2.02 [片山(手賀の丘公園)] ミヤマホジ(5) 地上で採食 船津登
 2.03 [亀成] ノリ(1) 飛んで来て電柱にとまる 鈴木静治
 2.03 [鹿黒] ノリ(1) 電柱にとまる 鈴木静治
 2.03 [発作] トビ(1) 川の上空を滑空 鈴木静治
 2.03 [別所] オドリ(10) 池の一方の岸より対岸まで泳ぐ 鈴木静治
 2.03 [北新田] オカカ(1) 越流堤横柳上 中野久夫
 2.04 [北新田] ヒ(1) 帆翔 中野久夫
 2.04 [高野山下] アカ(1) 樹の枝で採餌 野倉元雄
 2.05 [浅間前] ノリ(1) 電柱に電線の13羽のノリと一緒にとまる 鈴木静治
 2.06 [千間橋] ホジ(1) 川中を潜水しながら泳ぐ 鈴木静治
 2.06 [発作] ノリ(2) 風に乗り飛んで来て鉄塔にとまる 鈴木静治
 2.07 [岡発戸新田] アシ(1) 叢の柳の枝にとまる 鈴木静治・船津登・間野吉幸・金子雅幸
 2.07 [岡発戸新田] フカ(1) 沼上空を滑空 鈴木静治・船津登・間野吉幸・金子雅幸
 2.07 [岡発戸新田] ヒ(3) 斜面林上空を滑空、鳴く 鈴木静治・船津登・間野吉幸・金子雅幸
 2.08 [手賀沼辺] ヒ(1) 下沼1 染谷迪夫・松本勝英・田中功
 2.08 [手賀沼辺(鉄塔上)] ハブ(1) 上沼1 染谷迪夫・松本勝英・田中功
 2.08 [北新田] チョウゲンボウ(1) 電柱上 中野久夫
 2.09 [大井新田先手賀沼] ヘ(1) 11:30、ひどり橋下の葦原を鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
 2.09 [大井新田先手賀沼] ノリ(1) 11:50、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
 2.09 [片山新田先手賀沼] ミカ(1) 13:29、水面の杭で休んでいた 飯泉仁・飯泉久美子
 2.09 [箕輪新田先手賀沼] チョウゲンボウ(1) 12:53、電柱に天辺に止まり周囲を警戒 飯泉仁・飯泉久美子
 2.09 [箕輪新田先手賀沼] ヒ(1) 13:05、水面の杭に止まって休んでいた 飯泉仁・飯泉久美子
 2.09 [江蔵地] ヒ(1) 上空でハブノリにヒノグされる 鈴木静治
 2.09 [片山(手賀の丘公園)] ヒ(1) 上空を飛ぶ 船津登
 2.09 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ(1) 船津登
 2.09 [片山(手賀の丘公園)] 知ジ(3) 地上で採食 船津登
 2.09 [片山(手賀の丘公園)] ミヤマホジ(2) 桜の木に止まる 船津登
 2.09 [中峠] アカ(1) 朝、アカゲラの鳥影を枯れ杉に見つけました。近くの樹林からカケスが鳴き、上空にトビが来たので飛び去りました。 松本勝英
 2.11 [加賀] ヤマガ(2) 9:32、木々を鳴きながら移動 飯泉仁
 2.11 [柏] チョウゲンボウ(2) 建物の換気口に営巣・交尾していた 北崎正典
 2.11 [北新田] ノリ(1) 電柱上 中野久夫
 2.11 [北新田] ハブ(1) 電柱上 中野久夫
 2.12 [北新田] ノリ(1) 2号排水路横柳上 中野久夫
 2.15 [加賀] ヤマガ(2) 9:51、鳴きながら木の枝を移動 飯泉仁
 2.16 [北新田] ノリ(1) 畔から飛立 中野久夫
 2.16 [片山(手賀の丘公園)] ヒ(1) 上空を飛ぶ 船津登
 2.16 [片山(手賀の丘公園)] 知ジ(1) 地上で採食 船津登
 2.17 [北新田] ヒ(1) 飛翔 中野久夫
 2.20 [北新田] 材カ(1) 2号排水路岸柳上 中野久夫
 2.20 [高野山下] アカ(1) 樹の枝で採餌 野倉元雄
 2.20 [片山] ノリ(2) 農道の端でカルガモを食べる 船津登
 2.23 [柏の葉公園] ヒ(1) 13:09、上空を鳴きながら旋回 飯泉仁・飯泉久美子

- 2.23 [高野山下] ミコ (1) 沼の上空を西から東へ飛翔 野倉元雄
- 2.23 [片山(手賀の丘公園)] ノリ(1) 木の頂きに止まりピューと鳴く 船津登
- 2.23 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ (3) 船津登
- 2.23 [片山(手賀の丘公園)] カジ (3) 地上で採食 船津登
- 2.25 [江蔵地] ヒ (1) 上空高く巡回する 鈴木静治
- 2.25 [江蔵地] ハニシコ(1) 葦原で鳴く 鈴木静治
- 2.25 [江蔵地] ノリ(1) 道路脇の交通標識上にとまる 鈴木静治
- 2.25 [江蔵地] ヨウケノホウ(1) 田の上空を飛ぶ 鈴木静治
- 2.25 [江蔵地] ウグイ(5) 葎原で轉る 鈴木静治
- 2.27 [別所] オトリ(4) 池に垂れた木の枝にとまる 鈴木静治
- 2.27 [別所] ノリ(1) 池の上空を巡回 鈴木静治
- 2.27 [片山(手賀の丘公園)] 材カ(1) 枯木に止まる 船津登
- 2.27 [片山(手賀の丘公園)] 材カ(1) キョキョの鳴き声の後、林より飛ぶ 船津登
- 2.27 [片山(手賀の丘公園)] ノリ(2) 上空を飛ぶ 船津登
- 2.28 [北柏ふるさと公園] ハニシコ(1) 木の枝の上部にとまり、「フィ、フィ、フィ」と鳴いていた。 北崎正典
- 2.28 [発作] ノリ(1) 田の上を飛び電柱にとまる 鈴木静治
- 3.02 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ (6) 船津登
- 3.02 [片山(手賀の丘公園)] カジ (2) 地上で採食 船津登
- 3.04 [中峠] アカ (1) 樹上 松本勝英
- 3.04 [中峠] ヒバリ(1) 轉り 松本勝英
- 3.04 [中峠] ウグイ(1) 轉り 松本勝英
- 3.05 [布佐] ヤマガ (1) 森の高木にとまり鳴く 鈴木静治
- 3.05 [中峠] アカ (1) 樹に飛来 松本勝英
- 3.05 [手賀沼辺] ヒ (3) 上沼 2, 下沼 1 木村稔・田中功
- 3.05 [手賀沼辺] ハヤフサ(1) 上沼 1 木村稔・田中功
- 3.05 [岡発戸新田] ヒ (1) 上空を飛び巡回 鈴木静治・船津登・間野吉幸・池田日出夫・金子雅幸・蒲田知子
- 3.06 [江蔵地] ハニシコ(1) 木の枝にとまり鳴く 鈴木静治
- 3.06 [下沼田] ノリ(1) 田の上を飛ぶ 鈴木静治
- 3.06 [江蔵地] ノリ(1) 川の上空を鳴きながら飛ぶ 鈴木静治
- 3.06 [江蔵地] ヨウケノホウ(1) 夕暮れに田の上を飛ぶ 鈴木静治
- 3.06 [発作] ヒ (1) 川、田の上空を巡回する 鈴木静治
- 3.06 [発作] ノリ(1) 田の上を飛ぶ 鈴木静治
- 3.07 [中原] アカ (1) 10:35、林の中を鳴きながら移動 飯泉仁
- 3.10 [片山(手賀の丘公園)] ノリ(1) 林の中を飛ぶ 船津登
- 3.10 [片山(手賀の丘公園)] ヨウケノホウ(1) 上空を飛ぶ 船津登
- 3.10 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ (1) 船津登
- 3.11 [北新田] ノリ(1) 電柱上 中野久夫
- 3.12 [緑] ウグイ(1) 木の葉に隠れて轉り 野倉元雄
- 3.13 [下柳戸] 材カ(1) 田の畦に止まる 船津登
- 3.13 [下柳戸] ヨウケノホウ(3) 上空で輪を描き飛ぶ 船津登
- 3.13 [北新田] ウグイ(3) ヨシ原で轉り 中野久夫
- 3.13 [高野山下] ウグイ(1) 啼き声を確認 野倉元雄
- 3.15 [高野山新田] ミコ (1) 10:57、上空を旋回し高野山新田先の水面で魚を捕獲 飯泉仁
- 3.15 [片山新田先手賀沼] ミコ (1) 9:04、水面の杭に捕獲した魚を足にぶら下げ飛来 飯泉仁
- 3.15 [北柏] アカ (1) 12:40、柳の木に飛来 飯泉仁
- 3.15 [東我孫子(ゴルフ場)] ヤマガ (2) 樹間を移動 桑森亮
- 3.15 [北新田] ヒ (1) 飛翔 中野久夫
- 3.15 [北新田] ヲウ(1) 飛翔 中野久夫
- 3.15 [北新田] ノリ(1) 柳上 中野久夫

- 3.15 [大井新田先手賀沼] ウグ 1(1) 8:11、
斜面林の方向から囀り 飯泉仁
- 3.15 [箕輪新田先手賀沼] ウグ 1(1) 8:36、
囀り 飯泉仁
- 3.16 [中峠] ヲウケ 1(1) 狩り 松本勝英
- 3.16 [片山(手賀の丘公園)] 材カ 1(1) 林の
中でキョキョと鳴く 船津登
- 3.16 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガ 1(1)
船津登
- 3.16 [片山(手賀の丘公園)] カジ 1(1) 地上
で採食 船津登
- 3.17 [柏] ヲウケ 1(1) ハジトガラスが換気
口に近づくと、どこからともなく1羽の
ヲウケ 1(1) が猛スピードでカラスに近づ
き、「キキキ！」と激しく鳴きながら上か
ら押さえつけるようにカラスを攻撃し、
撃退した。 北崎正典
- 3.17 [北新田] カサキ 2(2) 4号排水路で
中野久夫
- 3.17 [北新田] ベニマシコ 1(1) 4号排水路土手
で 中野久夫
- 3.17 [布佐平和台] ウグ 1(2) 公園、宅地に
庭で囀る 鈴木静治
- 3.18 [南部地区] ツミ 1(1) 8:30、上空を鳴き
ながら移動 飯泉久美子
- 3.19 [江蔵地] ノスリ 1(1) 河原の木にとまる
鈴木静治
- 3.19 [江蔵地] ヒバリ 2(2) 河原の上空で囀る
鈴木静治
- 3.20 [片山(手賀の丘公園)] ミヤマホオジロ 1(4)
地上で採食 船津登

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオジ、アカゲラ、アカハラ、ア
リスイ、イソシギ、ウグイス、ウソ、エナガ、
オオジュリン、オオタカ、オオハクチョウ、
オオバン、オカヨシガモ、オシドリ、オナガ、
オナガガモ、カイツブリ、カケス、カシラダ
カ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒ
ワ、カンムリカイツブリ、キジ、キジバト、
キセキレイ、キンクロハジロ、クイナ、クサ

シギ、クロジ、コガモ、コゲラ、コサギ、コ
ブハクチョウ、シジュウカラ、シジュウカラ
ガン、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズ
ガモ、スズメ、セグロカモメ、セグロセキレ
イ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、タヒバリ、
チュウヒ、チョウゲンボウ、ツグミ、ツミ、
トビ、ノスリ、ハクセキレイ、ハシブトガラ
ス、ハシボソガラス、ハジロカイツブリ、ハ
ヤブサ、バン、ヒドリガモ、ヒバリ、ヒヨド
リ、ピンズイ、ベニマシコ、ホオジロ、ホオ
ジロガモ、ホシハジロ、マガモ、ミコアイサ、
ミサゴ、ミヤマガラス、ミヤマホオジロ、ム
クドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリカメ
メ、ヨシガモ、ルリビタキ

計 81 種

< 番外種 >

アイガモ、カワラバト、バリケン

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉仁	332
飯泉仁・飯泉久美子	129
飯泉久美子	3
北崎正典	6
北崎正典・北崎ちとせ	3
木村稔・田中功	30
桑森亮	83
鈴木静治	252
鈴木静治・船津登	
・間野吉幸・金子雅幸	26
鈴木静治・船津登・間野吉幸	
・池田日出夫・金子雅幸・蒲田知子	17
染谷迪夫・松本勝英・田中功	32
田中功	3
田中功・平岡考	2
中根忠	3
中野久夫	29
野倉元雄	51
船津登	163
松本勝英	11
総計	1175
	(浅井久)

【会員だより】(ab-yacho より)

当会のメーリングリストなどに投稿された鳥情報とその交換内容です。

【シジュウカラの巣作りについて】

古出洋子 2015.03.30

桜も咲き始め、春本番を迎えようとしています。

実は、我が家のポストがシジュウカラの巣作りのため占領されてしまいました。

3/26(木)夕方、苔が悪戯の様に入っているのを見つけました。翌朝投入口の下に数枚の苔(5×3cm程度)が落ちているので、もしやと思い裏口を開けてみると既に5cm程の厚さにびっしりと敷き詰められておりました。その日様子を窺うと、ポストとの間を2羽がものすごい勢いで地上1mぐらいのところを行ったり来たりして居り、他の1羽が近くの木の上で見張りをしているのです。

早速、郵便配達の人には事情を話し、暫く玄関先に作った臨時の段ボールのポストに投入して頂くようお願いしました。

夕方、鳥がいなくなった頃裏口を開けてみると、苔の上にシュロの繊維や白い羽毛などが運ばれていました。この時点で裏口もガムテープで塞ぎ、それ以降は見ないようにしました。そういえば先日このあたりでシジュウカラが声高に囀っていたのは、巣作りに格好の場所が見つかったと知らせていたのかも。しかしあれほどの大きさの土の付いた苔を、あの小鳥が運べることに驚きました。

29日(日)の朝は2羽のシジュウカラが飛び交っているのを見ましたが、今日は全く見かけません。ポストを開けるのも怖いのですが、どなたかアドバイスをお願いします。

ポストは石製で内側は約縦30cm横25cm厚さ22cm程で投入口(シジュウカラの出入り口)は地上1mです。南西にポストより高めの花木各1本あります。

【シジュウカラの営巣のこと、嬉しいこと、喜ばしいと感じます】

田中功 2015.03.31

お役にたつかどうか、分かりませんが、いくつか、関連する事項を箇条書きに書いてみました。

○シジュウカラの巣箱を作る際の巣穴の直径は28mm、とされているようです。

(28mmだと、シジュウカラは通れても、競合者となるスズメなどは通れない。)

○人間があまりシゲシゲと何回も巣場所に近寄り、ズ〜と覗き込んだりを繰り返すと、時には親鳥(番)がこれを嫌がって(忌避して)繁殖ステージによっては、最悪、営巣放棄という事態にもなるケースがある。

○また、親鳥(番の片方、両方)は、この時期、事故に遭ったり(捕食されたり、病気など)することもある。

○古出さんのところのシジュウカラ番の繁殖ステージは次のどのような段階(ステージ)にあるとお思いですか?これが分かると現状の推測(推測にすぎませんが・・・)ができるかもしれません。

(以下、“世界鳥名事典”《三省堂》吉井正監修)に依る。これらの段階のうち、まだ初期のステージにあるのではないかと、思われますが・・・。

- ・3~4月に営巣。(通常)樹洞、岩の割れ目、倒木の根元、郵便受けのなかなど人工物にも営巣し、巣箱もよく利用する。
- ・産卵数 7~10個が普通。9個の例が一番多い。

- ・メスのみが抱卵し、この間は、しばしばオスの給餌を受ける。
- ・13～14日で孵化
- ・巣立ちまでの18～20日間はオスメス共同で育雛し、巣立ち後も約1ヶ月間は家族群で生活。
- ・年に2回繁殖することが多い。

【かわいいヒナたちにきっと会えるでしょう】

松本勝英 2015.03.31

環境レンジャーなど、私の所属している団体で、ここ数年巣箱架設をしています。概ね、架けた巣箱数の4分の1に営巣が見られます。

古出さんのポストは、彼ら（シジュウカラペア）が選んだスイートホームです。しばらく（約1.5か月）は静かに見守ってください。7～8個を産卵し、13～14日でふ化し、それから20日くらいで巣立ちと思われます。

下層が苔類で上層が枯草や獣毛の二層構造の巣になっているはずですが。最初の巣立ちから2～3日中に、一気に巣立ちしてしまいますので、注視を要します。

ヒナの成長は、親が給餌のため盛んに巣に入りますので“声”で確認できます。

決してのぞかないでください。育雛を止めてしまうこともありますので。

少なくとも毎日50～60回は、親が出入りしますので楽しい日々です。

巣立ち後も、2番仔の産卵に入るペアもありますので注意してください。

八王子の私の姉の庭では、タヌキの置物（地上）に営巣したことも聞きました。

ワンちゃんが、ネコへの番人になってかわいいヒナたちときっと会えるでしょう。

【「見て見ぬふり」が大切。危険回避の気配りしながら観察を楽しみましょう】

平岡考 2015.03.31

< 実は我が家のポストがシジュウカラの巣作りのため占領されてしまいました。 >

さしずめ「シジュウカラにポストとられて仮ポスト」でしょうか？(^ ^)

すでに田中さん、松本さんからアドバイスがありましたので、ほとんど蛇足ですが。

松本さんのコメントにもあるように、シジュウカラの巣はコケの基礎の上に、獣毛、植物の綿毛や細い茎や根、シュロの毛などで産座が作られます。観察された巣もすでにシュロの毛が入っていたそうですので完成に近かったと思われます。

< 29日（日）の朝は2羽のシジュウカラが飛び交っているのを見ましたが、今日は全く見かけません。 >

産座の材料運びはコケ運びより1日あたりの回数が相当減るようですのでほとんど見ないように感じるかもしれません。これから、産卵期、抱卵期としばらく巣への出入りがほとんど見られなくなります。

この間、たとえばまんいち途中で放棄してもわからないわけですが、今は心配でもたびたび近寄ってみたりせず、「見て見ぬふり」が大切かと思ひます。とはいえ、鳥のほうも、古出さんのお宅の普段の生活を見て、ここなら安全と思って巣作りしたわけなので、人間のほうも厳戒態勢で臨むという必要はなく、郵便物以外は基本的に普通の生活をさせていれば大丈夫なのじゃないかと思ひます。

もちろん古出さんも鳥をご覧になってこられた経験から、シジュウカラがもしつつこく警戒声を出していればおわかりになるでしょうから、そういったときは巣になにか危険が迫っていないか、あるいはご自身が近づきすぎで鳥がつつこく警戒しているのかを判断されて、

しかるべく（ヘビが来ている危険があるならそれを取り除くとか、ご自身が警戒されていると判断できればお家の中に退散するとか）対応されればよろしいと思います。

巢内での育雛期の後半は松本さんも説明されているように、親鳥が給餌に帰ってくるとシシシシ、シシシシと尻上がりの声で餌をねだる声がありますので楽しいことと思います。郵便受けの鳥の出入り口が往来に面しているとする、通行する方にどのくらい目立つものかわかりませんが、最近の人は鳥の巣を見ていたずらしようとは思わないのじゃないかと思えますのでそんなに心配いらなないかもしれません。そのあたりは今から心配するよりそうなった段階で考えてもよいかもしれません。

以上お役に立てば幸いです。また何か進展がありましたらぜひ教えてください。

会からのお知らせ

<2014 年度当会活動の記録 DVD>

我孫子野鳥を守る会 2014 年度 DVD の配布希望の受付を開始します。

2014 年度の当会の探鳥会、会員の皆様から投稿頂いた写真集などが収録されています。

配布は有料（1 枚 300 円）になりますが、配布希望される方は下記北崎宛て、申込みをお願いします。

これまでは、写真集への写真応募者、映写会発表者の方にのみ配布しておりましたが、対象者以外の会員の方からの入手希望の声が多く寄せられましたことからご提供することになりました。会員限定です。

DVD には、特別付録として

JBF2014 での当会発表スライドショー

我孫子市民活動メッセ当会発表スライドショー

JBF にて当会が代行して紹介したモンゴルの自然の動画も収録しています。

申込先 北崎正典

電話 080-5186-2665

* 平日は仕事をしており、電話に出られない可能性がありますので、申込みは極力メールをお願いします。

* お渡し方法は、本号ご案内の公式行事の場にて、“現金引替え”が基本になります。

<メーリングリスト積極的活用のお勧め>

メーリングリストは登録されている会員専用です。

会員以外には公開されません。

大変簡単、迅速、そして役に立つ、会員間のコミュニケーション手段です。

下記メーリングリストのアドレス宛てにメールするのみで、登録されている会員には全員に即時に自動配信されます。

写真やファイルも添付できます。

メールは自動的にウィルス・チェックされ、安全、安心なコミュニケーション手段です。

皆様の探鳥活動での感動や、野鳥に関する情報、記録の発見、野鳥に関するイベントや出版物などの紹介、珍しい鳥 / 写真等のご披露など、気軽に会員の皆様と情報交換をしませんか？
これまで以上に、積極的にご活用ください。

また、メーリングリストへ登録されていない方はこの機会にぜひ登録ください。

なお、携帯電話でメーリングリスト登録の場合は、携帯電話会社が迷惑メール防止機能、なりすましメール防止機能を設定している場合があります。

これらの機能を解除いただきませんとメーリングリストからの配信メールがエラーとなる場合があります。

受信がうまくできない場合は、下記担当幹事へご相談ください。

新規登録等、担当幹事へのご連絡は以下へメールください。

メール宛先: ab-yacho-office@abikoyacho.sakura.ne.jp

我孫子野鳥を守る会メーリングリスト担当幹事

金子雅幸

相良直己

<ホームページ&配信メール講習会の予告>

当会のホームページや配信メールの仕組みも充実し、その活用が会員間のコミュニケーションで普及しつつあります。

皆様で、いまひとつホームページの活用や配信メールの活用に関心がないという方もいらっしやると思います。

そこで、下記のごとくホームページと配信メールの活用に関する無料講習会を開催します。皆様の参加をお待ちしています。

記

行事名： 我孫子野鳥を守る会ホームページ / 配信メール無料講習会

開催日時： 7月初旬（時間は会場予約時決定します。）

会場： 我孫子駅周辺 / アピスタ / 水の館のいずれか（現在手配中）

現在 7/4（土） または 7/5（日）開催で会場を手配中です。

決定次第別途ご連絡します。

講師： 当会会員有志

内容：

1、当会ホームページの効果的活用

当会ホームページの特徴と様々な活用法

当会ホームページへの投稿方法と考慮点

2、当会配信メールの活用

配信メールの仕組みと特徴

メーリング・リストへの登録と登録時の考慮点

（携帯電話のメール・アドレスでの登録時の考慮点も詳しくご紹介します）

配信メール利用時に起き得る問題と考慮点

配信メール送信 / 返信時の考慮点

3、当会役員、事務局へのメールを使つての連絡

申込先： 担当幹事 相良直己

電話 0471-91-3108

メール ab-yacho-office@abikoyacho.sakura.ne.jp

申込期限：6月26日(金)

< 映写会発表者募集 >

本年度も、下記のように映写会を開催いたします。

応募作品の内容・仕様などの準備の都合から先行しての掲載をいたします。

従前以上に、写真、ビデオ、スライドショーなどの発表者を下記のごとく大募集します。皆様の日頃の撮影、制作の成果をご発表頂きたく、奮っての応募をお待ちしております。

記

日時 7月26日(日) 9:30~13:00

場所 我孫子市民プラザ(旧エスパ) 第一会議室

あびこショッピングプラザ 3F

< 募集要項 >

作品を発表される方は7月18日までに相良宛て、以下をご連絡ください。

写真のテーマ・枚数

ビデオのテーマ・上映時間

スライドショーのテーマ・上映時間

内容は鳥や動物など自然関連のものとしします。

1、写真はスライド、デジタル画像のいずれでも構いません。

ただし、一人40枚以内とします。

デジタル画像ファイルは以下の通りでお願いします。

)メディア：USBメモリーまたはCDR

)ファイル：一括コピーできるような発表者名のついたホルダーに収納

)ファイル名：番号、題名、撮影場所、日付、拡張子

例 01 ムナグロ 発作 120506 jpeg (発作で12/05/06撮影)

)画像サイズ：長辺800~1280ピクセル以内(昨年までと同一です)

2、ビデオ(動画)もPCを用いて上映します。

WindowsのPCで行いますので、PCで発表できる形態でご用意ください。

3、スライドショーはWindowsのもとでのパワーポイントを用いて作成ください。

*発表作品は当日ご持参ください。

ただし、デジタルなどのコンテンツは開始前にパソコンにインストールしておきますのでUSBメモリーなどの媒体で、当日9:00までに相良宛て提出してください。

なお、前回は、発表時間の制約、発表者の説明時間がない、写真の説明(プロンプト)が見にくい・・・などご迷惑をおかけしました。今年度は、そのようなことが無いよう準備を進めますので、奮って応募の程お願い致します。

*申込先：相良直己 電話 04-7191-3108

メール ab-yacho-office@abikoyacho.sakura.ne.jp

*担当：相良、田中(恒)、石渡

< 新入会員紹介 >

残念ながら...2月、3月と新入会はありませんでした。

< 当会事務局のメールアドレスの設定 > (一部訂正の上、再掲)

当会では、事務局あてのメールアドレスを設定し、公開しております。
当会の外部から、当会へご連絡いただく場合には、下記の当会事務局メールアドレス宛メールいただければ、事務局が受信し、必要な対応をいたします。
外部へ当会の連絡先をお伝えする必要がある際は、下記メールアドレスをご紹介ください。

当会事務局メールアドレス : ab-yacho-office@abikoyacho.sakura.ne.jp

担当：事務局 相良

< ご寄付 >

山野辺伸作さん、天野正臣さん、台湾探鳥会(有志)よりご寄付を頂きました。
厚くお礼申し上げます。

< 27 年度定期総会 >

当会の平成 27 年度定期総会が、4 月 12 日(日)、我孫子市民プラザホールで開催され、
新年度事業計画および予算ならびに役員改選などについて審議の結果、承認されました。
(要旨は次号掲載予定)

ほーほーどり No. 244 (2015 年 5 ~ 6 月号)

発行 2015 年 5 月 1 日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、古出洋子、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270 1154 我孫子市白山 3 - 8 - 16 - 104 間野方

連絡先 〒277 0005 柏市柏 1001 - 5 野口隆也 Tel 04 - 7163 - 7898

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140 - 2 - 647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円 (大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料)